



東そのぎ

第169号

議会だより



令和2年 東彼杵郡3町消防団連合出初式

7議員が登壇 町政を問う

・・・P2～P5

委員会活動報告

・・・P6

町営バス購入・水道料金・不信任決議案可決

・・・P7

日曜議会6年ぶり開催・町民の声

・・・P8

傍聴者の声

・・・P9

新年のご挨拶

・・・P10



みてね！

養豚場誘致は多大な利益を生む

町 長

率先して誘致する考えはない

当該会社は我が国では有数の規模、実績を有し環境問題を最優先課題として取り組まれており更なる発展が期待される。当該会社が本町に来た場合、初期投資30億円以上、固定資産税初年度約3千万円、事業税等約3百万円など計り知れない利益を生み自主財源の乏し

そこで、議員8名、副町長以下職員5名は当該会社の豚舎及び周辺地区の環境調査を行った結果、臭気、排水等、環境評価は何ら問題無かった。当該会社は地域貢献として年40〜50万円の協力金や地区の草払い、地区行事に多大の貢献をされており、地域住民も来てもらって良かったと高い評価をされている。

【橋村】養豚場の農学園跡地への誘致は地元の理解が得られず町長の拙速な判断で断念とされたが当該会社は本町に進出希望である。

【橋村】環境問題は解決された

環境問題は解決された

【橋村】養豚場の農学園跡地への誘致は地元の理解が得られず町長の拙速な判断で断念とされたが当該会社は本町に進出希望である。

【町長】同感であるが事業者がやる事であり深く介入しない。

断念は拙速であった

【橋村】当該会社は固定資産税等の優遇制度も辞退される意向であり優良な企業誘致と捉え積極的に代替え地を含め模索すべきだ。

【町長】農学園跡地は県有地であり本町に適当な町有地もない。

【橋村】本町に誘致する気はあるのか、それとも他市町に持って行かれても仕方ないのか。

【町長】率先して誘致する考えはない。



地域の祭りに臨時バスを

町 長

関係機関と協議しながら検討したい



坂本浮立

【町長】祭りを継承していくにはどのようにしたらいいと思うか。

【町長】自治会にコミュニティに限って自由に使用できる補助金を支援したいと考えている。

【町長】子供たちも少なくなる中、町営の臨時バスを運行できないか。

【町長】子どもが帰る時間や路線との兼ね合いも考えながら可能であれば検討していきたいと思っている。

口木 俊二 議員



地域の祭りの継承は

タイムラインの設定は

【町長】いつ、だれが何をするか時間を明確に決めて防災行動を起こすことである。

【町長】タイムラインは設定済みか。

【総務課長】平成30年に組織図はできている。

各学校の外国語指導助手の現状と就学時健診の実態は

【町長】外国語指導助手の4名は多すぎるのではないか。

【教育長】恵まれている。もっと活用しようと考えている。

【町長】就学時健診時の子ども部会相談ブースが取りやめになった理由は【教育長】これまでは相談が出来にくい状況にあり、実績がなかった為。

町政を問う

7名が一般質問

日曜議会

(本稿は質問者の責任で作成しています)

一般質問とは

町の行政全般にわたり町長等執行機関に対して行う質問。

制限時間 60 分以内。

会議録は後日ホームページで閲覧できます。

1 大石 俊郎 議員

●新庁舎の建設若しくは総合会館等を活用した現庁舎の移転について

●台風15号、19号及び21号による災害の教訓をどう生かすか

2 橋村 孝彦 議員

●養豚場の誘致計画について

3 口木 俊二 議員

●各地区で行われている伝統のお祭りの継承について

●タイムラインの設置について

●町内各学校に設置されているA・L・Tの現状と就学時健診の実態及び支援員について

4 立山 裕次 議員

●新しいロードレースの開催について

●さらなる子育て支援について

5 尾上 庄次郎 議員

●広告案内板について

●彼杵神社の太木について

6 浪瀬 真吾 議員

●令和2年度に向けた取り組みについて

7 林田 二三 議員

●子育て支援の充実について

●防災対策・危機管理について

新庁舎か、既存施設移転か？

町 長

来年3月までに、報告したい

大石 俊郎 議員



新庁舎の建設、あるのか？

台風の教訓、どう生かす？

【大石】新庁舎建設を前提とした場合、建設の見込みは。

【町長】町の負担は、鉄筋コンクリートで約11億円、木造で約5億6千万円。今、庁舎整備基金が約1億円。(年間1千万円基金に入れたとしてもかなりの年月。)予想つきません。

【大石】総合会館等への移転計画や移転検討委員会的な組織はあるのか。

【町長】移転に限った委員会ではなく、新築・建て替えを含めた新庁舎建設整備検討委員会を係長クラスで組織し、調査研究中です。

【大石】近い将来の建設は、財政的に無理であり、倒壊・水没を避ける為、速やかに総合会館等への移転を考えるべきでは。

【町長】新築か移転か、来年3月までには、(議会に)報告を考えている。

【大石】現在の防災マップは、平成22年に作成。

浸水ハザードマップは想定されていないが。

【町長】命を守る為の(浸水)ハザードマップが大切な事は分かります。現在、作成中です。

【大石】2次避難所である小中学校の鍵を、地域の方に預ける考えは。

【町長】スペアキーを作成し、預ける方向で検討する。

【大石】町が指定した避難所だけではなく、民間病院等、1次的避難所として、協定を結ぶ考えはないか。

【町長】今後、民間施設(鉄筋コンクリートの建物)との協定を結んでいきたい。

【大石】自衛隊との防災会議や防災訓練についての考えは。

【町長】大村駐屯地に向いて協議をしたい。

来年度に向けた取り組みは

民間で出来ることは民間で

町 長

浪瀬 真吾 議員



【浪瀬】近年、悲惨な事件が発生している中で、幼児期や低学年では親の接し方次第で子供の心身に伴う成長を大きく左右すると思うが、その環境対策は。

教育に関する取り組み

【町長】新長崎農林業農山村活性化計画により生産対策・流通対策・販売対策の強化を図り、国県の補助事業を活用しながら所得確保に努め、各部署から提出された各種要望の有効な事業を実施したい。

農林水産業の取り組み

【浪瀬】昨年末には11ヶ国によるTPPが発行され、また、アメリカとのFTA交渉など農業を取り巻く諸情勢は一段と厳しくなっているが、所得向上を図る上での取り組みは。

【浪瀬】スクールバスと、町営バスを合わせた便数や運行時間の調整で、更なる利便性は図れないか。

スクールバスと町営バスの運行調整は

家庭・学校・地域・行政の連携で地域一体となった子育て環境が不可欠と考える。

高齢化社会での更なる支援策は

【浪瀬】来年度、国の方で元気高齢者支援対策事業が創設されるようだが。

子育て支援の充実を

町単独では難しい

町 長

林田 二三 議員



【林田】子どもの貧困化が進む中、病の早期発見、心身の健全な発達の為及び、多忙な子育て世代、多子世帯にとって煩雑で不便な償還払いから現物給付へ変更できないか。

子ども医療費について

【町長】医療機関が少なく小児科のない本町において他市町と同様の対応は難しい。現在未就学児は現物給付が実施されているが、医療機関システム導入の経費、事務負担の増、国保連合会を通し医療費を支払う際のタイムラグ等あったが県内の対象者の多さもあり実現した。現在県内全ての小・中学生の医療助成をしているので今後現物給付も県全体で実施できるように県に依頼し続けたい。

防災危機管理について

【林田】避難行動要支援者の名簿はあるか。

【町長】ある。現在、民生委員さん区長さんの協力を得て個別支援計画の作成に着手している。

避難行動要支援者の人数は、942名。内訳は高齢者543名、障害者34名、介護保険48名、難病者15名、その他640名、計1280名。数は重複する場合もある。

さらなる子育て支援は

医療費助成を高校生までに拡大する

町 長

立山 裕次 議員



新しいロードレースは

【立山】町長は、6月の議会の中で今年度は、「茶畑ロードレース」は行わないと明言をされましたので、代替案として、シーサイド公園のトラックと外周を使い、茶市期間中に小・中学生を対象にした「茶市ロードレース」あるいは「茶市ミニマラソン」を行い、参加賞として茶市で使える500円券を配布したら、茶市も盛り上がるのではないかと

【町長】私も議員同様、シーサイド公園を使い、まず、彼杵小・千綿小の児童による記録会が出来ないかと考えている。

【教育長】現在、スポーツ推進委員会と協議をしていますが、具体的な事は決まっていない。議員の提案は有効な手段と思われるので、スポーツ推進委員会の中で検討したい。

さらなる子育て支援策は

【立山】さらなる子育て支援として、中学生までの医療費助成を高校生までに拡大・民間業者を圧迫しない中高生への学生服のリユース事業・認定子ども園等の副食費の完全無償化に対する助成が出来ないか。

【町長】医療費助成については、来年度実施する。リユース事業については、現在、兄弟・姉妹、知り合いの方で行われているので、町で行うことは考えていない。副食費の無償化については、3町同じにしなければならぬ事はないが、東彼杵町としての考えは持ち合わせていないので川棚町・波佐見町の考えに委ねる。

リユースの制服が
選べるね



(写真) 福岡県古賀市教育委員会窓口にて

広告案内板が小さすぎて見えないが

電光掲示板を考えている

町 長

尾上 庄次郎 議員



広告案内板が小さすぎないか

【尾上】現在、町界付近の小音琴・坂本の2カ所に広告案内板があるが、小さく見えにくいので拡大できないか。

【町長】少しでも交流人口と定住者を増やすために、道の駅を中心に205号線沿いにタイムリーで情報を流せる電光掲示板を考えている。



彼杵神社内の大木について

【尾上】最近の台風は記録的な雨量や暴風による被害が多発しているが彼杵小学校への校舎などへの被害はなかったのか。

【教育長】彼杵神社や小学校の管理下に20本の太木があるが、これまで

小学校の校舎等への被害はなかった。危険がある場合には常日頃チェックし、伐採などについて協議したい。

町内茶業について

【尾上】町内の茶業はヤブキター辺倒で、消費者の好みに合わなくなりつつある。さえみどり等への改植の必要性は。

【農林水産課長】この8年間で38.7haを改植した。改植費の補助は10aに付1万円である。

【尾上】低いのでは。

【町長】低いと思う。今後、検討させてほしい。

【尾上】茶の販売や特産品の県外での販売についてと、全国茶品評会の蒸製玉緑茶部門で3年連続受賞と産地賞のW受賞を全国に発信していく手段をどう考えるか。

【町長】東京日本橋長崎館であった国際フオーラム等での販売を進めていく。今後、茶の付加価値をつけ、統一のシール、ロゴ、キャッチコピーを使って全国展開したい。

就学援助制度について

【林田】入学準備金の支給をせめて入学前の制服販売に間に合う対応ができないか。

【教育長】就学援助規則に、4月末日迄に申請のあった受給者には全額支給、援助費は6月に支給すると明記されている。他市町の就学前の給付についてはある程度掌握している。規則は今後検討して変える事は可能なので既に実施している他市町に問い合わせてみたい。

町営バス 3 号車購入について

現在使用しているバスが老朽化したので 938 万 3 千円で購入



PR ラッピングされた町営バス



水道事業の設置等に関する条例の一部改正する条例について

令和 2 年 4 月から東彼杵町公共下水道事業を地方公営企業法に基づき法の規定の全部を適用する。また令和 2 年 4 月から上水道事業経営の健全化を目的化した料金改定を行う。

基本料金 10 立方メートルまで 1,630 円 → 1,950 円

超過料金 1 立方メートルにつき 163 円 → 195 円

森副議長・不信任決議案再可決

理 由 (抜粋)

12 月定例会において他議員の一般質問に対し、この質問は「やらせだろう」と町長に迫り、このことが一部町民に知れ渡り町長の名誉を著しく失墜させると共に質問者に対する冒とくであり本町の議会や行政に著しい汚点を与えた。

また、これまで数々の委員会、各種行事の欠席が目立ち、欠席理由も妥当性に欠けるものがみられる。

他町を含めた正式な会議において、ふさわしくない服装で出席し他町からもひんしゅくを買うなどの、意見が多く寄せられ、本町及び議会の品位を著しく傷つけられた。

賛 否 表

林 田	立 山	口 木	浪 瀬	大 石	尾 上	後 城	浦	橋 村
×	×	○	○	○	○	○	棄 権	○

総 務 厚 生 常 任 委 員 会

○町有財産の管理状況について (11月20日)

- ① 下川団地は政策空き家で、9 棟 37 戸のうち 21 戸が空き室である。(政策空き家とは、空き室になっても入居させない住宅のこと)
- ② 蔵本 A 団地は政策空き家で、6 戸のうち 1 戸が空き家で、2 戸が転出予定である。
- ③ 下三根ゲートボール場は、原材料支給により再整備されたグランドゴルフ場と合わせ、健康増進の上からも役立っているが、樹木の伐採時に関係住民とよく協議されずに伐採され苦情が寄せられている。
- ④ 農村環境改善センターは、3 階が老朽化のため使用されていないが、1 階、2 階については社会福祉協議会食事サービスや子育て支援事業等、千綿地区住民に利用されている。
- ⑤ 旧千綿中学校は、大村湾を一望でき素晴らしい環境にあるので小学校の移転等を含めた利活用の検討が望まれるが、現在閉校時のままで整理整頓の必要性が感じられる。
- ⑥ お試し住宅は、建設して 3 年目であり、管理状態も適切に管理されている。これまで 42 件の利用があり、その内 5 家族 15 名の方々が移住して来られるなど実績を上げている。
- ⑦ 龍頭泉いこいの広場は、指定管理者制度で運営されている。しかし管理状況の不十分なところが一部みられた。来年 2 月から指定管理者は置かないとのことであり、早期の有効活用が望まれる。
- ⑧ 東そのぎグリーンテクノパーク汚水施設は、所在する企業の汚水処理する施設で臭気等も感じられず適切に管理されていた。



いこいの広場内の視察様子

産 業 建 設 文 教 常 任 委 員 会

○中高校生の卒業時における制服譲渡 (リユース) の取り組みについて (11月11日)

福岡県古賀市役所において、古賀市教育委員会による制服のリユースの立ち上げ、実際の譲渡についての説明を受け、その後制服が実際に展示してある教育委員会の一角で担当職員の説明を受けた。男性用、女性用合わせて常時数百着は準備してあるとのことであった。この取り組みは平成 19 年古賀市学校教育課が主体としてリユースを始めたとのことでした。受渡しは市内中学生、高校生で進学、転入、制服の買い替え等、制服を必要とする市民が来庁し、無料で譲り受けるとのこと。

経費は皆無で予算、決算等はいらないとのことである。これまでに制服業者とのトラブルは発生していないとの説明がありました。



古賀市役所内の制服展示ブース

○フリースクール「エデュケーションエキュープ」の実態調査

フリースクール代表理事の方からフリースクールについての説明を受けた。文科省の調査では 2017 年度の不登校児童生徒数は全国で 14 万 4 千人と前年度より 1 万人強増えており年々増加傾向にあるとのことであった。貧困と不登校との因果関係も指摘されている。この法人ではパソコンを活用した低料金の個別指導塾も開校されているとのこと。そして来年度から小学校でプログラミング教育が必修化されるのに先立ち、独創性などを養う「STEM 教育」も導入しフリースクールと STEM を組み合わせた教育をされていた。

傍聴者の声



全体的にどれも町民にとって関心のある内容であり、大切な議論でした。

(40代女性)

前回まで議場にパソコンを持ち込み作業をしておられた議員の方がおられました。今回は見当たらず改善されておりました。良かったです。

(60代女性)

インターネット等による中継、若しくは録画、動画の配信をすべきでは。

(30代女性)

女性の視点に立った一般質問、とても良かったと思います。具体的に町民の声を反映させた一般質問は良かったです。

(40代女性)

庁舎移転についての一般質問は、実現可能にするための具体的なプランが提案されていて良かった。豪雨などがある度に町民は不安です。一刻も早い対策が必要です。

(40代女性)

議会の改選から3回目の議会。まだ一般質問に立っておられない議員の方がおられるようです。その方々の一般質問を聞いてみたいです。

(60代女性)

一般質問において答弁される方はもう少し一問一答形式に準じてもらいたいと思いました。その方が論点が分りやすいので、テンポ良く進めてほしいです。

(40代女性)

平日に傍聴ができない人にとって日曜議会を開催してくださったことにとても良かった。内容的にも実際議員さんの話を聞くことで改めて自分が関心を持たなくてはならないことを痛感させられました。

(60代女性)

日曜議会に沢山の方が傍聴に来られました。1人でも多くの方が議会活動に関心を持たれることが町づくりの第一歩だと感じました。

(60代女性)

議会傍聴したのは今回初めてのことで、良い経験になりました。町民にも広く参加できるように呼びかけも必要ではないでしょうか。

(70代女性)

少ない財政で若者が住みやすい町づくりを目指して進めていただきたいです。Iターンの無駄遣いも少しは考えていただきたいです。

(60代女性)

いつ、どこで起きてもおかしくない災害、その災害に備えて日頃から準備しておく必要性を改めて考えさせられた議会でした。

(60代女性)

日曜議会 6年ぶり開催される

議会改革の一環として日頃、仕事で傍聴出来ない方も来場出来るように開催されました。

普段より多くの方々にご来場頂きありがとうございました。

今後も親しまれる、身近な議会を目指します。

(70名の傍聴者がありその内44名の方から貴重なご意見をいただきました。)



新しい時代に思う

三根郷 勝野 弘道

今年は、東彼杵町にとって、節目の年でありました。

新しい時代、それは何を意味するか、私は最近東彼杵町や地域のこと、いろいろと考えさせられています。将来どんな町になっていくのだろう。やはり人口が増え活気ある町を夢んでいます。

長崎県の玄関(入口)、(海)長崎港、(空)長崎空港(大村)、(陸)東彼杵町、陸の入口、東彼杵町、体でいえば心臓にでも値する町だと思っています。何が必要か、それは宿泊施設です。道の駅を起点に人が集まる場所、平戸、佐世保、長崎、島原、そして町内への案内、同窓会、ふる里へ帰省旅行、やはりゆっくり、一泊し東彼杵町の良い所を思っただければと思います。東彼杵という大木、倒れない根っこの張る町にしていきたいと思っています。

町民の声 大募集!

議会だよりへ掲載する町民の方からの声を募集しています。
ご希望の方は、町議会事務局までご連絡ください。

たくさんの傍聴ありがとうございました。一部抜粋して掲載させていただきました。
午前・午後合わせて70名の方に傍聴いただきました。

新年のご挨拶

議 長 吉永 秀俊

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては令和初の希望に満ちた輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町議会に対し格別のご理解とご支援並びにご協力を賜っております事に町議会を代表して厚く感謝申し上げます。

昨年4月の町議会選挙では、3名の新しい議員が当選され、その内一人は東彼杵町初の女性議員でありました。議会構成も変わり、我々議員一同一丸となって町民皆様の付託に応えるべく、「開かれた議会、身近な議会、町民に寄り添った議会」を念頭に皆様の声を真摯に受け止め、心豊かで安心して暮らせるまちづくりを目指し、精進して参りたいと思う所存です。

さて、全国的な少子高齢化、人口減少が進む中、本町におきましては昨年4月に「東彼杵中学校」と「ながさき子どもの村小学校」の開校が実現した事は、大変喜ばしいニュースでありました。また、全国茶品評会で3年連続の産地賞受賞の快挙が成し遂げられたことはまさに、お茶農家、町民皆様、町当局の言わばオール東彼杵で勝ち取った栄誉であります。どうかこの偉業が今後5年10年と継続することを心からお祈り申し上げます。

昨年度はこれまでの急激な人口減少に多少の歯止めができ、ふるさと納税額も今年度は倍増の2億円超えになるようです。

今後は、作るべきものは作り、削るものは削りながら町当局、町民皆様、そして議会が三位一体となり、相互理解を深めながら難局を乗り越えて行かなければならないと思われまふ。

また、議員一人ひとりの資質向上と研鑽に努めるべく、昨年6月議会では「議会改革特別委員会」を設置し、12月議会では6年ぶりに日曜議会を開催し、多くの皆様に傍聴して頂きました。さらに、来るべき「Society 5.0」時代の到来を見据え、タブレットを利用した「ペーパーレス議会」の研究等も始めております。

本年も、議会本来の役目であります町政の監視と批判を深め、町当局と一丸となって町政発展のために取り組んで行く所存でありますので、町民皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、皆様方にとって本年が実り多い年となりますようご祈念申し上げ、議会を代表しての年頭のご挨拶とさせていただきます。



委員 長	口 木 俊 二
副 委 員 長	尾 上 庄 次 郎
委 員	林 田 二 三
	大 石 俊 郎
	浦 富 男
	橋 村 孝 彦

編集後記

昨年は統一地方選挙の年であり、新しい議員が誕生し、あつと言う間の9か月が過ぎましたが、東彼杵町の良さや今後考えなければならない課題等が見えてきたように感じます。

一般質問では、今回7名の議員がそれぞれの分野や立場で登壇し、執行部と議論した内容を一人でも多くの皆様方に分かりやすく、見やすいようにするために、カラーで「議会だより」を作成しました。

これから寒い日が続きますが、健康に留意され町民皆様のご多幸を祈念致します。

(尾上)